

緒方 惇



概要

氏 名 緒方 惇 (おがたじゅん)

(本名) 藤川惇子 (ふじかわじゅんこ)

職 業 詩人

住 所 熊本市島崎7丁目29-25

主な活動地 熊本県内各地

特別賞

緒方惇氏は、昭和二十五年に熊本県立女子専門学校(現・熊本県立大学)第一回英文科を卒業後上京し、出版社有斐閣編集部に勤務する傍ら、詩誌「詩学」研究会や各文学研究会で文学の修行に励みました。

昭和三十一年に熊本に帰郷し、本渡市(現・天草市)で詩誌「白聖紀」の編集と執筆、熊本市に転居した昭和三十四年から、月刊文芸同人誌「詩と真実」の編集委員として、また、熊本県文化懇話会設立、発会に尽力し、現在も文学部門の常任世話人として活躍中です。

昭和四十六年には「緒方惇詩集」で第十三回熊日文学賞を受賞するなど、作詩はもちろんのこと、ハンセン病をテーマとした熊本県民映画「あつい壁」では制作実行委員会事務局長として、また、熊本大学総合講座「アミズムの世界」「アイルランド事情」の講師として、昭和六十二年から現在まで宇土市「文学に親しむ会」の講師としても功績があります。

平成十一年には、水俣で「淵上毛銭を顕彰する会」を立ち上げ、県下の小中高校生から詩を公募し、「淵上毛銭賞」を設けるなど、若い世代にも文学に親しむ機会を設けるとともに、県内の文学文化活動の発展に大きく寄与しています。

## これまでの活動歴

|        |  |
|--------|--|
| 昭和三十一年 | 天草現代詩研究会設立<br>「天草文化賞」受賞  |
| 昭和三十四年 | 月刊文芸同人誌「詩と真実」編集委員  |
| 昭和三十八年 | 熊本県文化懇話会設立、発会に参加<br>映画「あつい壁」事務局長に就任<br>「緒方惇詩集」出版                                   |
| 昭和四十六年 | 第十三回熊日文学賞受賞  |
| 昭和四十八年 | 「地に樓む記録」(共著)を執筆<br>「女の系譜」(共著)を執筆   |
| 昭和五十二年 | 第六回「詩と真実賞」受賞   |
| 昭和五十二年 | 「熊本の民話」(共著)を執筆   |
| 昭和五十七年 | 「熊本県大百科事典」編集委員兼執筆  |
| 昭和六十二年 | 宇土市「文学に親しむ会」講師(現在)   |
| 昭和六十二年 | 熊本近代文学館で「詩と真実展」開催  |
| 昭和六十二年 | 熊本大学総合講座講師(平成十六年)  |
| 平成元年   | 熊本市政百周年記念創作劇に参加。担当部分をミューシカル仕立てに。   |
| 平成二年   | 県内初となる「熊本の詩人展」を熊本近代文学館で開催に協力   |
| 平成三年   | 熊本市鮑田四町合併記念「へるんさん<br>の熊本―青い目に映った日本の心―」<br>脚本執筆                                     |
| 平成七年   | 「高群逸枝生誕百年記念誌」編集執筆  |
| 平成十二年  | 「淵上毛銭賞」審査委員長(現在)   |
| 平成十二年  | 「へまもとの女性史」編集委員兼執筆  |
| 平成十九年  | 「ミリアム2000年・ハーン生誕150年・お城まつり協賛」へるんさん<br>の熊本―世界へのメッセージ―脚本<br>執筆<br>女性栄誉賞(国際)ロマン(熊本)受賞 |